

基本情報

- ◆ 認定年度: 2018(平成30)年
- ◆ 設置時期: 2018(平成30)年12月
- ◆ 実施部局: 工学研究科、地球環境学堂
- ◆ 相手方機関: 清華大学深圳国際研究生院(中国)
- ◆ 設置タイプ: アウトバウンド型
- ◆ 設置目的: 環境工学分野における日中の共同研究・共同教育の促進
- ◆ 設置場所: 清華大学深圳国際研究生院(中国・深圳)
- ◆ 活動内容: 環境工学の共同教育研究活動を行い、環境問題の解決を目指す。国際共同学位プログラムの実施。

活動による大学全体への波及効果

- 環境分野をはじめとした優秀な留学生の獲得
 - 環境工学分野以外の分野のインターンシップ教育の拡大
 - 国際共同学位(DD)プログラムの他分野への拡大と学位形態の多様化
 - 京大と清華大の環境工学の共同研究から、他分野、日中の他大学、現地行政・企業を含めた産官学による国際共同研究への発展
- 【2025年度】
- センター設立20周年記念シンポジウムを京都大学及び清華大学深圳キャンパスにて実施し、ネットワークの再構築を行った。
 - 修士課程DDプログラムとして、京都大学生の派遣、清華大学生の受け入れを行った。優秀な学生の獲得及び京都大学の学生の国際性を涵養するため、両大学の学生を対象とした短期国際研修を実施した。

活動概要

京都大学



工学研究科

地球環境学堂

CRECET

Cooperative Research and Education Center for Environmental Technology
設置: 2005年10月



清華大学



中国広東省 深圳市大学城



深圳国際研究生院

1911年設立、中国トップ大学
2001年深圳にキャンパスを建設
QS世界大学ランキング: 17位@2025

日本側企業・行政機関等

- 京大教員・学生の調査研究・実験
- 清華大学・中国研究機関との共同研究
- 日本企業・中国研究機関との共同研究
- 京大学生のインターンシップ派遣と清華大学生の受入
- 京大学生のDD派遣と清華大学生のDD受入

共同利用ラボ

リエゾンオフィス

協働教育

- 清華大教員・学生の施設利用
- 京都大学・協議会企業等との共同研究
- 日本企業・中国研究機関・中国企業との連携
- 清華大学生のインターンシップ派遣と京大学生の受入
- 清華大学生のDD派遣と京大学生のDD受入

中国側企業・行政機関等

オンサイトラボラトリーを活用し、環境工学以外の分野への交流発展へ

2025年度の主な活動実績

① 設立20周年記念式典及びシンポジウムの開催

- 2025年7月に本センター20周年記念シンポジウムを京都大学時計台記念館で開催。170名の参加者が集い、20周年記念セレモニーを実施後、20年の歩み、ダブルディグリープログラムの紹介、両大学の研究者による学術講演を実施。シンポジウムに先立ち、両大学の学生の交流として桂キャンパスでのグループワーク及び大阪・関西万博の視察を実施。
- 2025年11月に同20周年記念シンポジウムを清華大学深圳キャンパスにおいて開催。144名の参加者が集い、これまでの中国在住の京都大学卒業生のネットワークの再構築がなされた。
- 国際共同研究・成果発表としては、国際誌に2報の論文が掲載されるとともに、国際共同研究を継続。

② 修士課程ダブルディグリープログラム及びグローバル環境人材養成プログラムの実施

- 2026年3月に修士課程ダブルディグリープログラム第1期京大生1名が修士課程を修了した。第2期生1名が2025年8月に帰国。清華大学生1名の修士論文公聴会を実施。清華大学DD生を2名受入。
- 2025年10月26日～11月2日まで、グローバル環境人材育成プログラム「シマツのこころ 循環経済を京都で学ぶ」を学生の国際性を高め、若手研究者を育成するための事業として実施。清華大学(中国)から12名、マラヤ大学(マレーシア)から2名、京都大学から36名の学生が参加し、交流を実施。
- 2026年3月15日～21日まで、短期国際研修プログラムとして、京都大学学生9名を派遣し、現地の最新施設見学や清華大学深圳国際研究生院学生とのグループワークなどを実施し、国際性を涵養。
- 支援企業向けのオンラインセミナーを2025年8月、2026年2月に実施。



設立20周年記念シンポジウム集合写真(上:京大、下:清華大)



グローバル環境人材養成プログラムでの集合写真